

think transplant

臓器を提供されたお母さまへの手紙

vol.
48



ママ、私に臓器提供の意思を
残してくれて、ありがとう。





ママへの想い。一年後。

末娘に「1歳のお誕生日おめでとう!」ってママに言ってもらって、それからすぐにママは死んでしまいました。

小さかった子どもたちも、今ではパパのこともじーじのことも自分たちのことも認識できます。3人のお姉ちゃんが家族写真を指差して、この人がみーみだよ、おばあちゃんだよ。と教え込んでいます。みーみと言えるようにもなりました。でも、みーみと言えるようになったけれど、写真を見てもママの顔はまだ認識できていません。

去年の夏は、大きなスイカを転がしながら一緒に写真を撮ったけど、今年の夏は一緒にスイカを食べられませんでした。お盆の準備ってなに?なにをどう用意すればいいの?浴衣の着付けも、私一人でどうしよう。

秋。毎年恒例の松茸。豊作だったよ。お客さんに振る舞おうにも、ママがお料理してくれないから、私が代わりにママがいつも作っていたように松茸ご飯にしました。作り方、これで合っているの?



▲ 大きなスイカと

一緒に住んでいたママが突然いなくなった
悲しみを味わった1年でした。

人が突然死ぬということ。そのことで身近な人がどれだけ悲しむかを知りました。

まだママがいなくなって1年と少し。

忘れないように忘れないようにって、ママがいた空間を思い出して毎日必死に生きています。



▲ ママと浴衣姿の娘たち

でもママがないという現実を、みんなで生きていくためには忘れないようにしたり思い出している余裕は、正直ありません。死んじゃったママのことばかりを考えてなんかいられない。

そうやってママを忘れて、ママのいない生活が当たり前になっていきます。そのことに気が付く瞬間が、とてもつらくて悲しくて、そんな自分を責める気持ちにもなります。



そのくらい死んじゃうことは私を苦しめます。ずるい、ひどいって思います。

ママは死にたくて死んだわけじゃないのにね。分かっているのにずるいよ、ひどいよってママを責めながら生きていくことは、許してほしい。

なかったことにできたらいいのに、それができない現実を、残された人は生きていくことになります。

だから私は、生まれてきて生きていくこと、それがどれだけ尊くてありがたいことなのかを人に伝えていきたいと思います。

分かっていることは、生きている限り生老病死は避けられないということ。

縁起でもないとか、まだ大丈夫とかそんなことどうでもよくて、人はいつか必ず死ぬことになります。それがいつかはわかりません。決まっていません。

ママにあのとき人間ドックを勧めていたら。病院に行くように説得していたら。防げることができたのではないかと。とかタラレバばかりです。

それでも私は、ママと臓器提供の話だけはしっかりしていた。

「ママが死んだら、使えるものはぜんぶ使ってほしい」

この会話だけは明確で、確実なママの気持ちでした。

私がこの言葉を聞いていたからこそ、私たち家族は決断できました。

ママの人を思う心が、今どこかである人を救い、その人を大事に思う周りの人たちをも救ったのだと思うと、私たちの悲しみは半分減って希望に変わります。



ママがまだまだ生きていると思える。それこそが私たち家族の生きる力です。

ママ、私に臓器提供の意思を残してくれて、ありがとう。

◀ 産まれたばかりの娘とパパとママ



今回の
お話し

「意思表示」で変わる、 あなたとまわりの未来

意思表示の現状

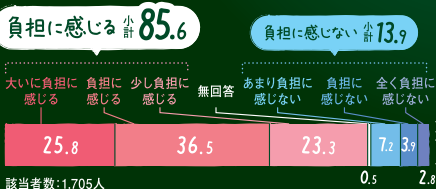
突然ですが、あなたは臓器提供に関する意思表示をしていますか？(意思表示については、右のページを参照ください)

2021年(令和3年)の世論調査では、臓器提供に関心がある人が65.5%いるにも関わらず、意思表示をしている人は10.2%にとどまります。まだまだ浸透しているとはいづらい割合ですが、意思表示をしている・していないことで一体どんな違いが起こるのでしょうか？

意思表示は、あなたと家族の気持ちを尊重するためのツール

世論調査にてこのような結果が出ています。

問: 家族が脳死下または心停止後において提供意思を表示していなかった場合の負担感



出典: 内閣府「移植医療に関する世論調査」
2021年(令和3年)

仮に、ご家族の誰かが最善の治療を受けた結果、回復の見込みがない場合に、その方が臓器提供について何も意思表示をしていなければ、臓器提供を承諾するかどうかは残されたご家族の総意で決まります。

左記では85.6%もの人が、家族のみで臓器提供の承諾することに負担を感じています。このことから、臓器提供する・しないに関わらず、意思表示しておくことが、将来ご家族の決断の一助になるかもしれません。

「臓器提供をしない」、それも尊重されるべき意思表示の1つです。意思表示をすることが、臓器移植医療を考えたことにつながります。ぜひこの機会に、ご家族と話し合ってください。

よくある質問

Q. 意思表示は誰にでもできますか。
年齢の制限はありますか。

グリーンリボン
キャンペーンの天使
ハート

A. 意思を表示することには、
年齢の上限はありません。
どなたでも記入できます。

もっと
知りたい人は
ホームページに!



臓器提供の意思表示をしよう!



臓器を提供する。移植を受ける。私たちはどちらの立場にもなる可能性があるから、一人ひとりが家族と話し、意思を表示することが大切です。

意思表示の方法

臓器提供の意思は、以下の5つで表示できます。



健康保険証



運転免許証



マイナンバーカード



意思表示カード



インターネット

日本臓器移植ネットワークのサイトからインターネットで意思を登録すると、IDの入ったカードが発行され、いつでも登録情報の変更や削除ができます。



<https://www2.jotnw.or.jp>

STEP.1 自分の意思を選択

1~3いずれかに○をしてください。
どの意思も等しく尊重されます。

STEP.2 1.2を選んだ方のみ 提供したくない臓器を選択

提供したくない臓器があれば×をしてください。

脳死後に提供できる臓器

心臓・肺・肝臓・腎臓・膵臓・小腸・眼球

心臓が停止した死後に提供できる臓器

腎臓・膵臓・眼球

STEP.3 1.2を選んだ方のみ特記欄への記入

皮膚・心臓弁・血管・骨など臓器以外にも提供したい方はその旨を、また親族への優先提供の意思を表示したい方はホームページなどで詳細をご参照のうえ、「親族優先」と記入してください。

注意事項 保険医療機関等において診療を受けようとするときには、必ずこの証をその窓口で渡してください。

住所

備考

※ 以下の欄に記入することにより、臓器提供に関する意思を表示することができます。記入する場合は、1.から3.までのいずれかの番号を○で囲んでください。

STEP.1 1. 私は、脳死後及び心臓が停止した死後のいずれでも、移植の為に臓器を提供します。
2. 私は、心臓が停止した死後に限り、移植の為に臓器を提供します。
3. 私は、臓器を提供しません。

STEP.2 (1又は2を選んだ方で、提供したくない臓器があれば、×をつけてください。)
【心臓・肺・肝臓・腎臓・膵臓・小腸・眼球】

STEP.3 特記欄:

署名年月日 年 月 日

STEP.4 本人署名(自筆): 家族署名(自筆):

例. 健康保険証

STEP.4 氏名などを記入

記入した意思は家族へ伝え、もしものときに第三者が確認できるようにしてください。提出や郵送の必要はありません。家族署名欄がある場合は、家族から署名をもらおうと良いでしょう。



臓器移植に関する
ご質問・お問い合わせ先

公益社団法人 日本臓器移植ネットワーク

☎ 0120-78-1069 (平日 9:00~17:30)

臓器移植



<https://www.jotnw.or.jp>

